

トマト（夏秋被覆栽培）の病害虫の発生状況（9月中旬）

1 灰色かび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図1）。発生程度の高いほ場が見られ、果実での発生も確認されています。今後、気温の低下に伴い施設を閉めきることが多くなり、湿度が上昇しやすくなるので、換気を行うとともに、発病葉は摘除し、ほ場外で処分してください。

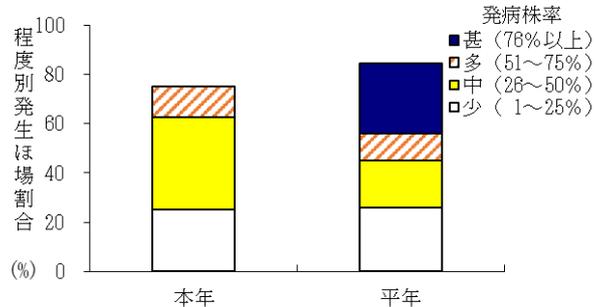


図1 灰色かび病の発生状況

2 葉かび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年より低い状況でした（図2）。多湿条件により発生しやすくなるので、換気を十分に行ってください。抵抗性品種を作付けしているほ場でも発病がみられた場合には、葉かび病かすすかび病かを確認し、適切な薬剤を選択して防除してください。

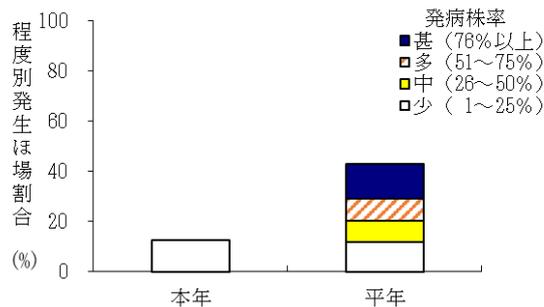


図2 葉かび病の発生状況

3 すすかび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図3）が、発生しているほ場では発病度が高い状況でした。多湿条件により発生しやすくなるので、換気を行ってください。発生が確認された場合には、適切な薬剤を選択して防除してください。

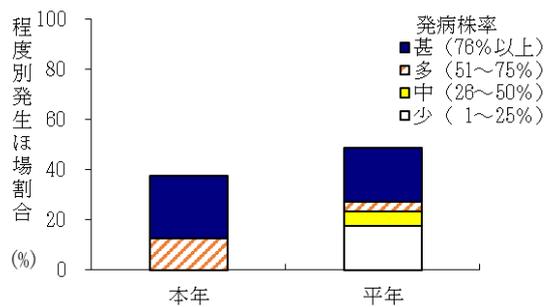


図3 すすかび病の発生状況

4 アブラムシ類

巡回調査では、発生は確認されませんでした（図4）。ほ場をよく観察し、発生が多くなった場合には、速やかに防除を実施してください。

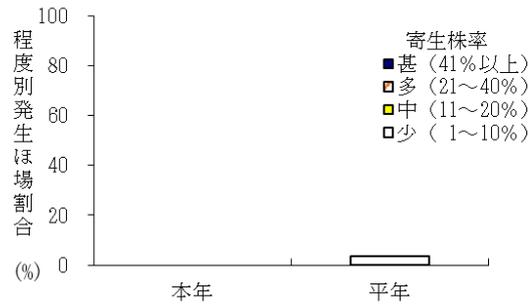


図4 アブラムシ類の発生状況

5 コナジラミ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図5）。寄生種がタバココナジラミの場合は、着色異常果の発生やトマト黄化葉巻病（TYLCV）を媒介するので、注意してください（病害虫防除所HPに掲載している病害虫防除情報「注意喚起 トマト黄化葉巻病（TYLCV）のまん延防止対策」、病害虫ライブラリー野菜花き類「コナジラミ類」をご覧ください）。

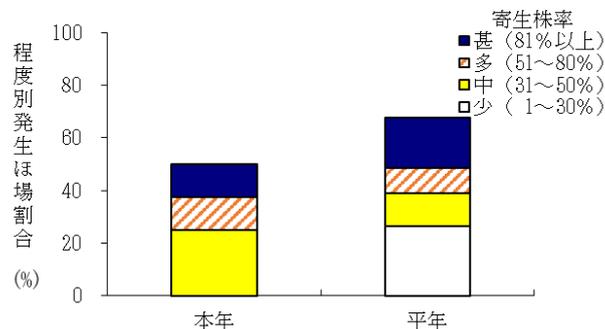


図5 コナジラミ類の発生状況

6 アザミウマ類

巡回調査では、発生は確認されませんでした（図6）。防虫ネットの設置が定着していますが、ほ場をよく観察し、発生が多い場合は、速やかに防除を実施してください。

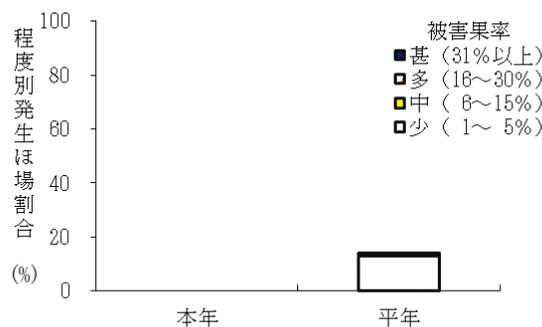


図6 アザミウマ類の果実被害発生状況

7 ハモグリバエ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図7）。まん延すると防除が困難となるので、発生が見られる場合には防除を実施してください。

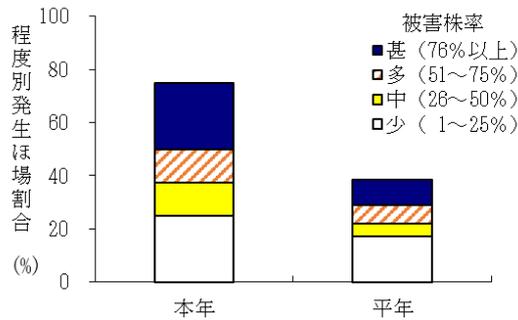


図7 ハモグリバエ類の発生状況

8 オオタバコガ

巡回調査におけるトマト果実の発生ほ場割合は、平年並でした（図8）。トマト、キクのフェロモントラップ調査では、8月下旬から9月上旬にかけて各地で誘殺数が多くなっています。発生が確認された場合には防除を実施してください（図9、10）。

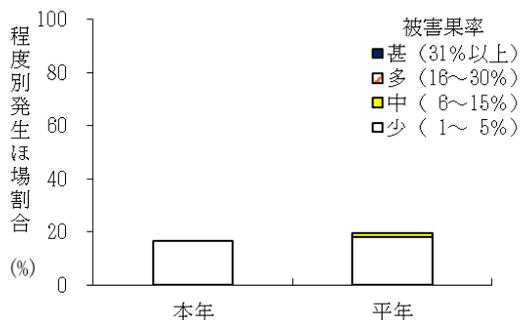


図8 オオタバコガの果実被害発生状況

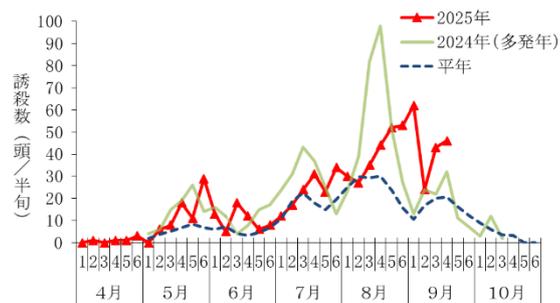


図9 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況
(伊達市保原町:キク)
※2025年は4月から調査開始

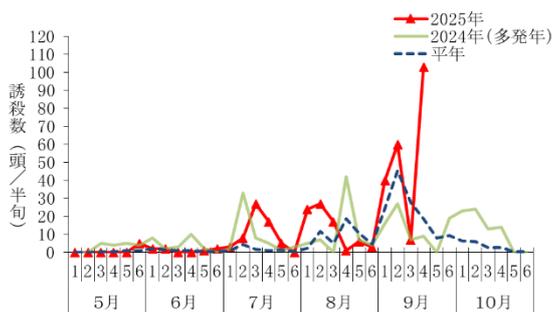


図10 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況
(猪苗代町:トマト)

■ トマト黄化葉巻病 (TYLCV)

夏秋トマトとミニトマトで、トマト黄化葉巻病の発生及び発生地域の拡大が確認されています。発生ほ場においては、コナジラミ類の防除を徹底してください。また、発病が疑われる株については速やかに抜き取り処理を行ってください。なお、今後定植するほ場では、コナジラミ類の侵入を防止するため、ハウス開口部に防虫ネット（0.4mm目合い）を設置しましょう。

病害虫防除所ホームページでも情報を掲載しているため、下記のURLも参考にしてください。

【注意喚起～トマト黄化葉巻病 (TYLCV) のまん延防止対策～】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/544337.pdf>

【トマト黄化葉巻病 (TYLCV) 対策 チラシ】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/648953.pdf>

【トマト黄化葉巻病 (TYLCV) 対策 パンフレット】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/648954.pdf>

■ トマトキバガ

南会津地域のフェロモントラップにおいて、8月3半旬から誘殺数が増加傾向となっており（図11）。また、県内の複数地点において葉や果実の食害が確認されています（写真1）。ハモグリバエ類の食害痕と間違えやすいため症状をよく確認し（写真2）、トマトキバガに適用のある薬剤を選択した上で防除しましょう。

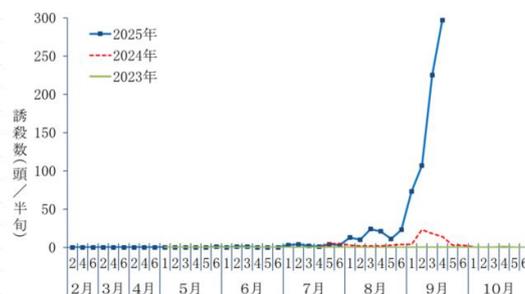


図11 フェロモントラップによるトマトキバガ誘殺数
(南会津町水根沢:トマト)
※2025年2～4月は南会津町宮床のほ場に設置
※2023、2024年は南会津町界のほ場に設置



写真1 トマトキバガ幼虫による被害葉（面状）



写真2 ハモグリバエ類幼虫による被害葉（線状）

※ 夏秋トマトの巡回調査では、下記の11ほ場を調査しています。

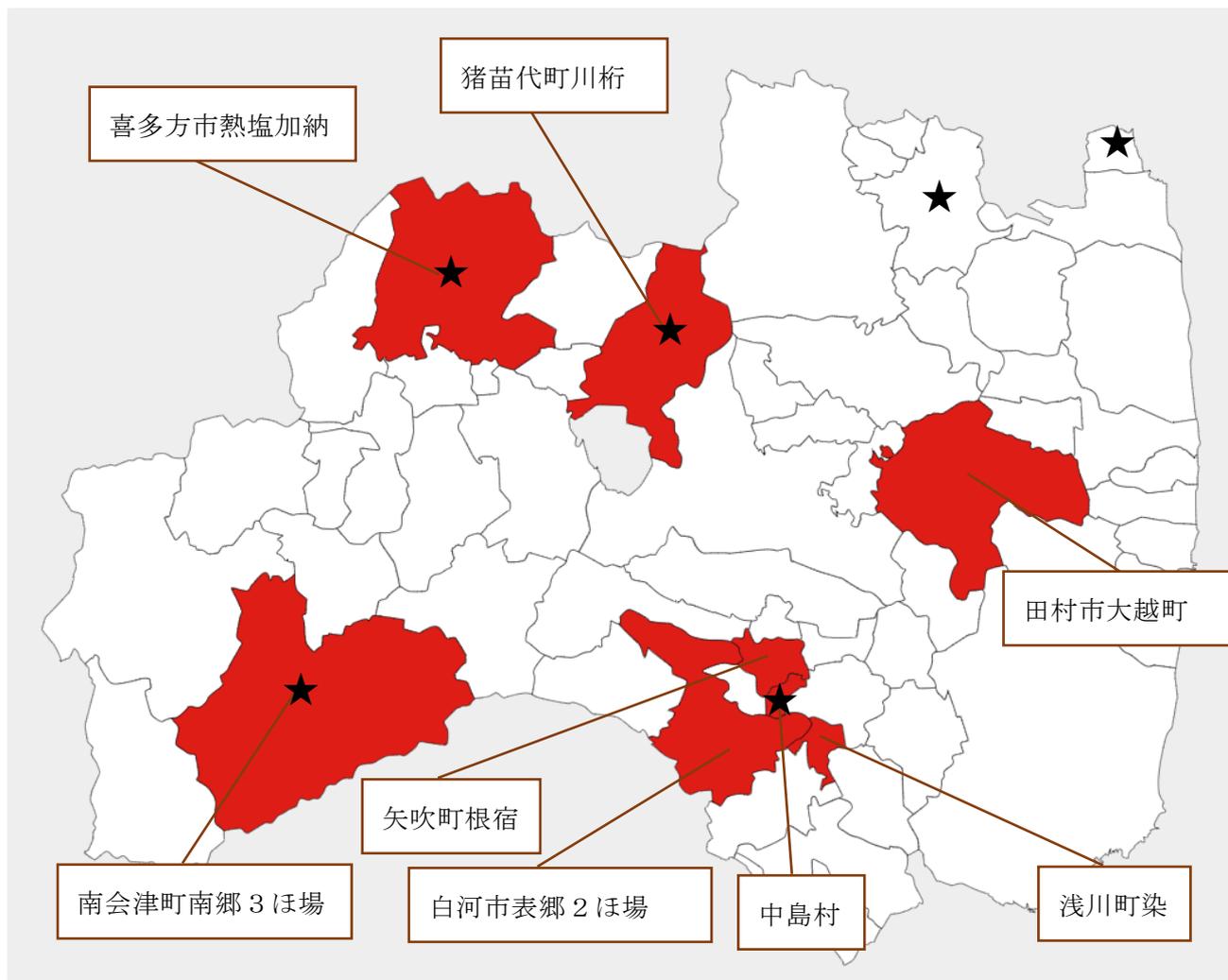


図 夏秋トマトの巡回調査地点

※網掛け：夏秋トマト巡回調査地点、8市町村、11地点

※★：オオタバコガのフェロモントラップ調査地点、6地点

● 情報内容への質問や要望は、福島県病虫害防除所までご連絡ください。

Tel:024-958-1709 Fax:024-958-1727 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp